

【主催】福岡県立少年自然の家「玄海の家」令和5年8月13日（日）～8月19日（土）



子どもボランティアサークル 「タイミング」

体験
キャンプ編

2 空腹を
ゼロに



1日目「2 飢餓をゼロに」「4 質の高い教育をみんなに」

4 質の高い教育を
みんなに



GRIPアクティビティ



6泊7日の1日目！！最初はみんな少し緊張していたようでしたが、レクリエーションをとおして、徐々に明るく元気な声が聞こえるようになりました。また、キャンプネームで呼び合えるようになり、班で楽しく活動することができました。

カードゲームで遊ぼう

SDGs協会の方をお招きし、「SDGsとは何か」について講義を受けました。その後、講義の内容をもとにカードゲームを行い、「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」を経済・環境・社会の視点で体験的に学ぶことができました。



SDGsクッキング

夕食作りでは「夏野菜カレー」を作りました。今回は1人当たりの米の分量を指定し、ご飯を炊きましたが、多くの班でご飯が残ってしまいました。この体験は、フードロスを見る化し、食事の場面でもSDGsが関係していることを知るきっかけになりました。



タイミングタイム＜参加者の振り返りを紹介します＞

- ・初めて会った班のみんなの名前やキャンプネームを覚えたり、仲良くなったりすることができました。
- ・SDGsカードゲームをして、SDGsの目標を達成することで得ることができるものと同時に失われるものがあることを知ることができました。
- ・みんなで協力して作ったカレーはとてもおいしかったです。エコのことも考え、食品を細かく切るなどの工夫をすることができました。





2日目「15 陸の豊かさも守ろう」



フォレストアドベンチャー



2日目は、フォレストアドベンチャー久山に行きました。そこで、竹害についての講話を受け、放置された竹が自然におよぼす影響について学びました。また、実際にアスレチック体験をし、木がしっかりと育っていること、自然の豊かさが守られていることから、私たちの体を支え楽しい体験ができることを肌で感じることができました。



竹林伐採



午後からは、実際に竹害を受けているグローバルアリーナに行きました。森林再生の会さんに協力していただき、伐採した竹を決められた長さのにこぎりで切る作業をしました。竹を取り除く困難さを身をもって体験することができました。

SDGsクッキング



朝食は、牛乳パックを活用して「ホットサンド」を、夕食は、「冷しゃぶパスタ」と「アヒージョ」を作りました。どちらもすごく美味しかったです。また、昨日の経験を活かし、明日の朝食で使うご飯を自分たちの班で食べられる分量を考えて炊いた結果、見事残菜を0にすることができました。

タイミングタイム＜参加者の振り返りを紹介します＞

- ・フォレストアドベンチャーができる前は竹ばかりで、大雨が降ったときは土砂崩れが起きるなど、被害が出ていたことを知りました。
- ・フォレストアドベンチャーで楽しく遊ぶことができたのは、放置森林を変えて活用しようと考えたフォレストアドベンチャーの皆さんのおかげだと思います。
- ・活動を楽しみながら、自然の豊かさや大切さを学ぶことができました。





竹食器・串・箸作り



伐採した竹を使って、そうめん流しに使う食器と箸を作りました。紙ヤスリでザラザラした部分をきれいにし、小刀を使って箸を整えていました。これから大事に使おうとする気持ちを育むことができました。

竹灯籠作り

森林再生の会の方に協力していただき、ドリルを使って竹に穴をあけて、模様をつけました。初めてドリルを使う人が多く、最初は戸惑っている様子がありましたが、段々と慣れてきて、とても楽しそうでした。

SDGsクッキング



朝食は「親子丼」でした。ここでは、火をなるべく使わないということで、やきとりの缶詰を使用しました。夕食は、「豆腐ハンバーグ」と「もやしサラダ」を作りました。洗い物を減らすために、食べるお皿にラップをかけ、水も少なく済むようにしました。

そうめん流し

伐採した竹をそうめん流しの土台に使うため、班のみんなで協力して、竹を半分に切り、節をハンマーで取りました。そして、全てを組み合わせて、巨大なそうめん流しの土台ができました。そうめんの他に、フルーツなどを流し、みんな大興奮でした。



タイミングタイム

<参加者の振り返りを紹介します>

- ・竹を切って捨てるのではなく、よりよく使うことで他の物にも地球にとってもいいものだと思います。
- ・そうめん流しの準備では、同じ班だけではなく、ほかの班とも協力することができました。
- ・自分たちが作った竹灯籠に蝋燭で火をつけてみると、思っていたよりもきれいでした。
- ・タイミングタイムで、竹灯籠に蝋燭を入れたら、きれいに光っていました。とても達成感があって、つくってよかったなと思いました。





4日目「14 海の豊かさを守ろう」

SDGイズ

学んだ知識をもとにSDGsの内容でクイズ大会を行いました。個人戦・班での協力戦もあり、みんな頑張っていました。SDGイズをとおして、山と海が繋がっていることを学びました。



カヌー体験

カヌー体験を予定していましたが天候不良により、急きょ活動内容を変更しました。波の高さや流れの強さに海の怖さと同時に偉大さも感じることができました。変更後の活動については、班で話し合っどどの活動をするのかを選んでもらいました。館内では、ストーンアートやモルック、外の活動ではスコアオリエンタリングをしました。



SDGsクッキング

朝食は、「オムレツ」を作りました。火を使う時間を短縮するために、袋に卵を入れて、湯煎で人数分一気に作れるようにしました。夕食は、時短で簡単にということで、「ぶっかけうどん」と「大根サラダ」を作りました。



タイミングタイム

<参加者の振り返りを紹介します>

- ・SDGイズでは、班で協力してSDGsの問題をいろいろ解いたので、SDGsにもっと詳しくなれたと思います。
- ・SDGsについて、自分は知っているつもりだったけど、知らないこともたくさんあって、びっくりしました。
- ・砂浜でスコップをなくしてしまい、何度も探したけど見つからなかったの、次はなくならないように気をつけたいです。

造形活動



造形活動では、自分たちで考えたお題を砂で作りしました。班対抗だったため、活動中意見がぶつかる場面も見られましたが、班で協力して作品を完成することができました。



5日目「14 海の豊かさを守ろう」



Let's go おおしま

今日は魚釣り体験をするため、神湊港から船に乗って、大島へ。玄海の家から神湊港までの道のりは約3.7kmあり、みんな「あつい」「きつい」と言いながらも、全員頑張って最後まで歩くことができました。船の中では、みんなわくわくしている様子がうかがえ、魚釣り体験をとて楽しみにしている様子が伝わってきました。

魚釣り体験



うみんぐ大島で魚釣り体験をしました。魚釣りが初めての人が多く、魚を触るのも怖がっていましたが、次々に魚が釣れ、いつの間にか、魚も触れられるようになっていました。みんな楽しそうに魚釣りをしていました。

タイミングタイム

<参加者の振り返りを紹介します>

- ・魚釣りでは、いっぱい釣れていっぱい食べられました。どれもおいしかったです。でも、魚を取らなかったら、今も元気に泳いでいたかもしれないので、魚を食べることに感謝しなくちゃいけないと思いました。
- ・魚を釣ることができていい経験になったし、なにより自分で釣った魚をさばくというとてもいい経験ができました。
- ・魚のハンバーグが本当に魚なのかと思うくらいおいしかった。
- ・魚さばきは初めてしたけど、コツをつかめば思っていたよりも簡単でした。

地産地消海鮮料理教室

大島で釣った魚を自分たちで調理するため、SEASONSさんをお招きし、地産地消の海鮮料理を5品作りました。自分たちで釣ったアジを三枚におろし、アジフライを作ったり、イカをさばいてイカリング、イカ飯を作ったりしました。また、アジのハンバーグやアジを塩焼きを作りました。さらに、宗像のアカモクを使って、味噌汁を作っていました。豪華海鮮料理が出来上がり、とてもおいしかったです。





6日目「17 パートナーシップで目標を達成しよう」



ボランティア講座

ボランティア講座では、ボランティアは自分たちがしたい気持ちだけではなく、ボランティアをする人、してほしい人、両者の合意の上で行う必要があるということを学びました。



テント設営

6泊目は、テント泊でした。電気などのエネルギーを使わずに宿泊する体験です。班の男女に分かれてテントを建てました。ここでは、男子が女子のテントを建てる手伝いをしている姿が見られ、班の絆を感じました。お互い協力してテントを立てることができ、みんな仲良くテントでぐっすり寝ていました。



SDGsクッキング

朝食は、フードロスを減らすために、「焼きおにぎり」とこの5日間で余った卵とレタスを使って、「オムレツ」と「サラダ」を作りました。夕食は、朝食で余ったご飯を使って、「ライスピザ」と「大根サラダ」を作りました。



タイミングタイム

いつものタイミングタイムとは違い、キャンプファイヤーや花火をしました。またボランティアの大学生がレクリエーションをしました。キャンプファイヤーでは、海浜清掃で拾った流木に火をつけ、6日間の感想を1人ずつ発表し、とても楽しい時間を過ごすことができました。



SDGs協力隊

SDGs協力隊では、くらげれんごうさんをお招きし、日頃行っている活動についてお話を聞きました。ビーチクリーンをして、拾った海ゴミなどからペンやキーホルダーなどを作ることができるということを知りました。また、SDGsとボランティアを掛け合わせ、実践キャンプに向けて自分たちにできること、SDGsの大切さを再認識しました。





7日目 タイミングタイム

タイミングタイム①

午前中は、この6日間の活動の報告を行うため、班で話し合い、自分たちの班が何日目を担当するのか全体で決めました。その後、場面ごとの写真を選び、発表原稿を1人1枚考えました。班で発表に向けてたくさん話し合い準備をしました。また、自分たちで会場の準備を行いました。



タイミングタイム②



午後からは、午前中に考えた発表原稿をもとに、発表の流れをまずは個人で、次に班で、最後に全体で確認をしました。はじめは前で発表するのに、緊張している姿も見えましたが、本番に向けて何度も練習を、頑張っていました。

タイミングタイム

保護者の方々をお招きし、この6日間で行ってきた活動の報告会をしました。みんなの緊張は伝わってきましたが、しっかりと学び体験したことを報告し、発表後の表情からは、達成感に満ち溢れたたくましい姿が見られました。



体験キャンプで学んだこと

- ・つくる責任、つかう責任でゴミも工作などに使えることを学びました。
- ・エコな料理を学びました。
- ・山を守れば海が守れ、海を守れば山が守れることを学びました。
- ・竹が木の水分をとっていることを学びました。
- ・つけたものをさらにつかうことの大切さを学びました。